

作業機能（実効性）を評価

富高 史裕



自己紹介

- 富高 史裕
- 愛知県
- あいち福祉医療専門学校 教員
- 教員歴2年目
- 最近の趣味:子育てしかできてない..
- 最近の出来事:車を買いました

なぜ作業機能を評価するのか？

- 作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。

作業療法理論を
知ろう！



作業機能とは？





作業機能と作業機能障害

- ①作業ができている
- ②作業にかかわれている

日々の生活行為ができている, あるいは生活行為に関われている状態を作業機能



作業機能と作業 機能障害は併存 している

- 機能と機能障害は併存しているため、全か無かではないのです
- これはICFのポジティブとネガティブを一緒に見ると少し似ていますか。



作業機能は

どこで使うのか？

- ・使用する場所を選ばない

作業機能障害は健常者でも体験している

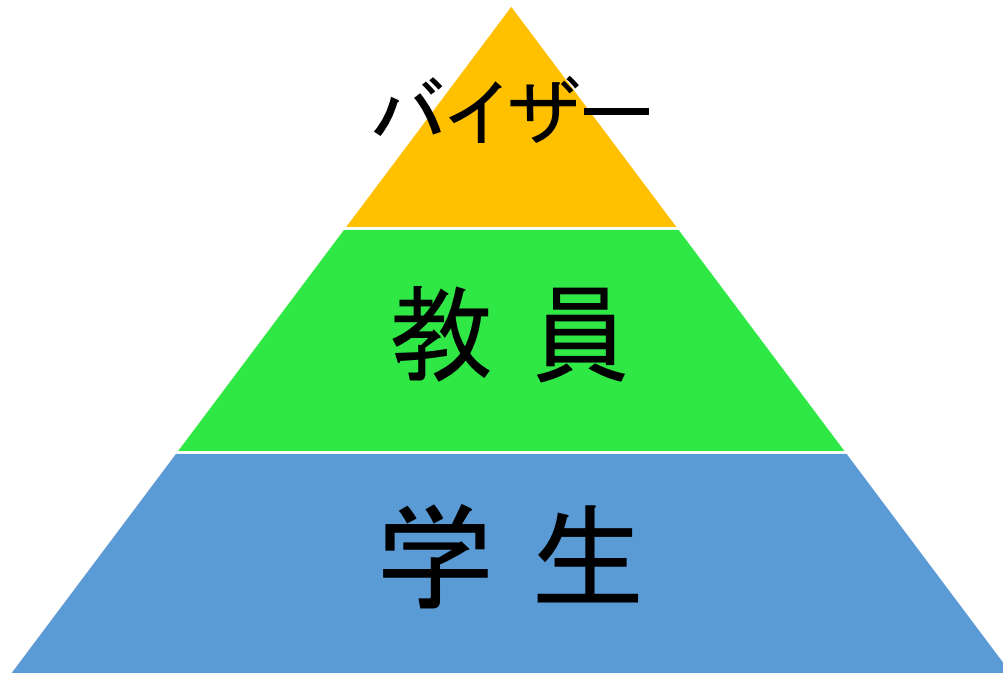
どんな時に使うの？

- ・作業機能障害を体験している人がいるとき

担当した学生が実習前まで行えたことができなくなり
作業機能障害を体験しているとき

臨床実習中の学生においても有用

- 「臨床実習では講義と異なり，自ら主体的に行動しながら学習することが要求されている」。臨床の場に入って，対象者と関係者の中に身を置きながら実習をするということは，学生にとって大きな学びとなる。同時に学生にとってはストレスを抱えている。



実習におけるヒエラルキー構造

実習中の学生もフォローしてみよう

- 作業機能障害の種類と評価(CAOD)

評価ツールの妥当性を確かめるために大学生を対象に研究をしている。

作業機能障害を評価するためには有用であり信頼性が高いことが報告されている。

学内においてもライフスタイルに問題を抱えていることが、学外に出ることでよりライフスタイルの問題は顕著になる。

作業機能の評価の方法

- 構成的評価

作業機能障害4種類を評価できれば何を使用しても良い

例:カナダ作業遂行測定(COPM), 作業に関する自己評価(OSA-II)など

作業機能障害の種類と評価(CAOD) ←今回はこの話

- 非構成的評価

観察と面接から生活場面について知る

作業機能障害の4分類

作業不均衡



作業剥奪



作業疎外



作業周縁化



評価表を用いた評価(構成的評価)

- 作業機能障害の種類と評価 (Classification and Assessment of Occupational Dysfunction)
 - 目的: 作業機能障害の4種類(不均衡、剥奪、疎外、周縁化)が評価できる
 - 対象: 健常者、障害者(身体障害、精神障害)
 - 概要: 16項目に対して、現在の状態を7件法(1点: 当てはまらない～7点: 当てはまる)で回答してもらい、総合計得点、因子ごとの得点で作業機能障害を評価する

OBP2.0で使用する評価：CAOD

手順1 今日を含む2週間以内の間のあなたの状態に最もよく当てはまる回答に○をつけてください。すべての質問に答え

①質問に対して現在の状態を○してもらおう

質問	当てはまる	ほぼ当てはまる	どちらとも言えない	どちらかといえば当てはまらない	おおむね当てはまらない	当てはまらない	
I 1 忙しくて、生活のリズムが乱れている	7	6	5	4	3	2	1
II 2 趣味を楽しめる場所がない	7	6	5	4	3	2	1
III 3 日々の生活に達成感がない	7	6	5	4	3	2	1
IV 4 自分の意見をあまり聞いてもらえない	7	6	5	4	3	2	1

②こここのローマ数字を参考に因子を分類する

手順2 CAODスコア

種類I 計28点	種類II 計21点	種類III 計21点	種類IV 計42点	合計 計112点

手順3 CAODの結果を踏まえ、あなたと作業療法士で話しあい、たい作業機能障害を決める内容を記入してください

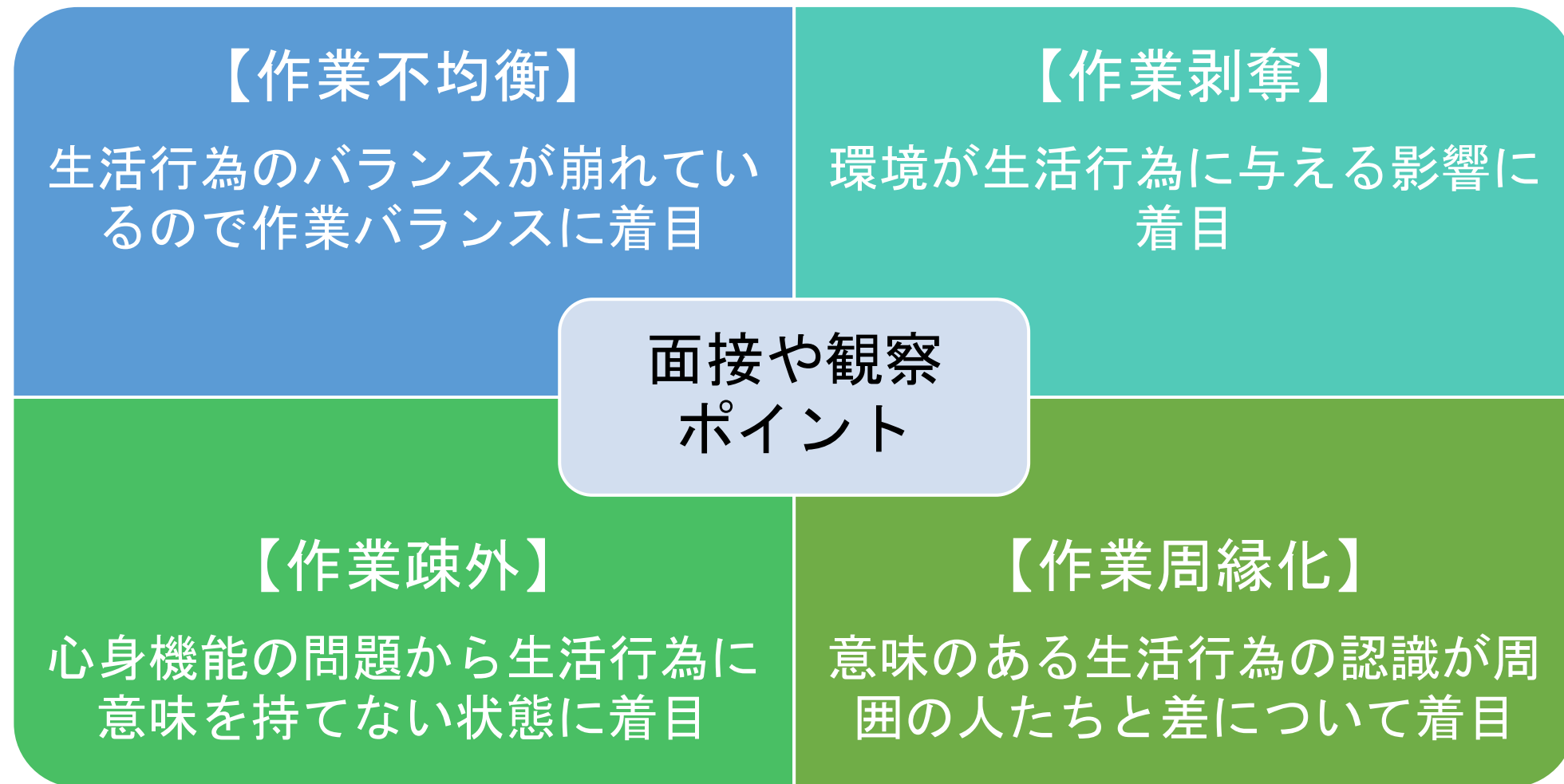
手順3	あなたと作業療法士で話しあい、たい作業機能障害を決める内容を記入してください
1	
2	
3	

③種類に応じて合計得点を算出し、16項目すべての合計得点も算出する

52点以上であれば作業機能障害の可能性
アリ！

※ 重症度の推定ができるシステムもある

非構成的評価



どこに不満を感じているかで介入目標変わる

【作業不均衡】

生活指導, 作業の調整, 統制感の取り戻しなど

【作業剥奪】

環境調整, 自助具・装具の作成, マンパワーの育成, 協力体制の整備など

介入

状況と目的に応じてあらゆる方法を活用する

【作業疎外】

探索, フロー, カウンセリング, 幸福感を高める作業の提供など

【作業周縁化】

交渉, 解明, マネジメントなど

作業機能障害の実効性について

 <p>2020</p> <p>OBP2.0を用いて信念対立に対処しながら、作業機能障害に対して料理を行うことで、社会参加が可能となった引きこもり事例</p> <p>福岡リハビリテーション病院 田代 徹</p>	 <p>2020</p> <p>CAODを用いて意味のある作業から成功体験を得ることでADL動作が自立に至った事例</p> <p>福岡リハビリテーション病院 作業療法士 新里 健斗</p>	
<p>2018</p> <p>心理的問題を持つ心不全患者の生活再構築に CAODが有用であった事例</p> <p>獨協医科大学日光医療センター リハビリテーション部 作業療法士 須藤 誠</p>	 <p>2020</p> <p>事例とOTが思い描く将来像のズレから目標共有を困難にしていたケース</p> <p>施設名: 福岡リハビリテーション病院 氏名: 郷野 寛武</p>	 <p>2020</p> <p>CAODを使用した評価が退院前訪問につながった事例</p> <p>医療法人崇徳会 田宮病院 こころのリハビリセンター 橋爪卓</p>

ご静聴ありがとうございました